

50th

令和5年度2月号 [2月15日(発行)]

校訓 自主・協同・創造



岸川中だより

川口市立岸川中学校
川口市安行領根岸374番地の1
TEL268-4506 FAX268-4761
特別支援学級 TEL268-7110
さわやか相談室TEL268-4510
<https://kishikawa.official.jp>

みんな イタリア人になろう！

校長 松田 隆幸

今回は、私の生き方問題を少しばかり。何を隠そう、私は、生まれ変わったらイタリア人になりたいと周囲の人に話しています。その理由は？と問われれば、私の勝手なイメージですが ①陽気！ 明るくて、おおらかで、寛容 ②スポーツ、お祭り、イベント大好き ③仕事の流儀が日本とは違い、分業の概念があまりないようで、自分ですべてを執り行う ④ご飯がおいしい ⑤家族を大切にしている 等々がある。イタリアの方には失礼な内容であると思うので、先に誤っておきます。ごめんなさい。でも、私には先進7か国(G7)の中で、③のイメージが少なくともある。これは、みんなが、お菓子屋さんの店番しているおばちゃんのような仕事ではないかと思ってしまう。要は、どこからが、公的な仕事で、どこまでが私的な時間なのかを区別をつけることが難しい仕事が多い。伝統工芸品や、美術品、服飾デザイン、工業デザイン等 世界の超一流がイタリアとの関係があると思うのです。実を言うと、イタリアには行ったこともないし、イタリア人の友達もいません。しかし、このイメージ先行で、イタリア人になりたいとまで思い込むのは、①にある、陽気、明るい、おおらか、寛容が一番の理由です。ある本によれば、イタリア人は時間通りに集合しない。とにかく時間通りにはいかない、打合せ通りにもいかない。日本では考えられないこと。何のための打合せなのか、...。となるところだが、イタリアではそれが日常だそうだ。その本によれば、打合せ通りに行かないから、不測の事態が日常的に起こる。つまり、不測の事態を予測することが可能であるということ。不測の事態が日常であるということは、不測の事態で、うろたえたり、取り乱したり、慌てることはないということ。従って、不測の事態の環境下で最後まであきらめずに、事をやり遂げるのがイタリア人だそうだ。この本を読んだとき、「あ〜 イタリア人って、実力あるなあ〜」と感じた次第です。今の日本人には、最も足りないものを持っているのがイタリアの人たちかもしれないと思ったところで、最良の条件がそろった時にしか発揮できない力を実力とは言わない。いつでも・どんな状況下でも発揮できるのが実力だと生徒に指導してきた私にとって、イタリア人はある意味実力者なんだと思うところです。また、打合せ通りでなくても、時間が遅れて開始しても、帳尻は合っている。帳尻合わせができる頭脳と技術と決断力・実行力。時間に遅れて集合してもおおらかに受け止める寛容さ。生産効率も、日本より上かかもしれません。分業もしないし、一人ですべてを完結できる人がそろっている。みんな職人。日本の会社の、働き方のシステムからは、おおよそ対極にいると思われる国の製品が、日本人が我先にと買い求める。バッグも車も日本人の心を掴んで離さない。そんなイタリア人に来世があるならなってみよう。そう念じているのだが、ある時、ひらめきました。現世で修業をしなければ、来世は開かない。「そうだ、現世でイタリア人ようになっていけばよいのではないか？」私としては天才的なひらめきであったと今でも思っています。そして出した答えが、だったら、今の日本でイタリア人に一番近い人になろう。そうだ、今から、大阪人になればよいのだ！私の出した結論です。なにいうとんじゃ？アホかいな？と思われるでしょうが、一筆で、あの曲線を描ける日本人がいますか？時間に遅れてくる(このこと自体を良しとはしていません)人をおおらかな気持ちで待っていられますか？相手のミスのリカバリーする実力者(笑顔で穴埋め)がいますか？日本人は素晴らしい気質を持っているはずなのに、特に寛容な心をロボットのように無くしてはいませんか？ 陽気・おおらか・朗らかさについて日本人は薄っぺらになってはいないか？が心配。大阪人は、お笑いを好み、笑顔が絶えず、ピザのようにお好み焼きがある。来世が楽しみや。

*最後は なぜか うまいく イタリア人 日経ビジネス文庫 宮嶋 勲 著

令和5年度全国健康づくり推進学校最優秀校を受賞しました

2023 Kishikawa J.H.S 50th ANNIVERSARY

